

対象国の条件：高速道路（有料道路）が整備されているまたは整備計画のある国

研修コース番号：201984557-J002

案件番号：201984557

主分野課題：運輸交通/全国交通

副分野課題：

使用言語：英語

**案件概要**

経済発展が著しい開発途上国では物流ネットワークの強化等のため、高速道路の整備が進められており、JICAもこれを支援している。高速道路の整備においては、適切な道路計画・建設や供用後の効率的な運営・維持管理が必要である。これまで50年以上にわたり高速道路を整備・運営してきた我が国の経験を活かし、高速道路に係る技術について、総合的な研修を実施する。

**目標／成果**

**対象組織／人材**

【案件目標】

高速道路（有料道路）の計画・建設・運営・維持管理に係る課題が明確になるとともに、本研修を通じ習得した技術、知見を踏まえ、課題解決及び今後の活動計画が策定される。

【成果】

1. 自国高速道路（有料道路）整備・運営における計画、建設、運営・維持管理の現状及び課題が明確になる。
2. 日本の有料道路制度、計画から運営・維持管理まで含めた高速道路（有料道路）整備計画について理解し、自国への応用可能な知識・技術が検討される。
3. 自国高速道路（有料道路）の現状及び課題を踏まえ、課題解決及び今後の有料道路整備へ向けた活動計画案が作成される。

【対象組織】

中央省庁等における高速道路（有料道路）を担当する部局または高速道路（有料道路）の建設・運営・維持管理を実施する道路会社

【対象人材】

【職位】

高速道路（有料道路）の計画または運営・維持管理の担当する技術者及び行政官

【経験】

高速道路（有料道路）の計画または運営・維持管理の関連部署で5年以上在籍した経験を有し、本研修参加後に2年以上継続して高速道路（有料道路）の計画又は運営・維持管理に携われる者

【学歴】

大学の土木工学、機械工学、電気工学の卒業あるいはそれと同等の資格を持つ者

**内 容**

【事前活動】

1. 自国の高速道路（有料道路）に関する現状、課題、計画についてのカントリーレポートの作成。

【本邦研修】

1. カントリーレポートの発表、ディスカッション。
2. 以下の内容について、講義、視察、実習及びディスカッションを行う。
  - ・日本の道路行政（道路計画、有料道路制度、PPP（官民連携）制度等）
  - ・日本の高速道路（有料道路）計画（基本計画、実施体制、歴史）
  - ・日本の高速道路（有料道路）の建設技術
  - ・日本の高速道路（有料道路）の運営管理（料金收受、交通管理・管制、渋滞対策等）
  - ・日本の高速道路（有料道路）の維持管理（維持管理、点検、危機管理・災害復旧等）
  - ・日本の高速道路（有料道路）の最新技術サービス（路面性状点検車、規制器材等）
3. 自国の高速道路（有料道路）の課題解決及び（または）今後の有料道路整備へ向けたアクションプランの作成・発表

※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創」（Knowledge Co-Creation）の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。

**本邦研修期間**

2019/12～2019/12

**担当課題部**

社会基盤・平和構築部

**所管国内機関**

JICA東京（経済環境）

**関係省庁**

国土交通省

**実施年度**

2018～2020

**主要協力機関**

(株)片平エンジニアリングインターナショナル（一社）国際建設技術協会JV

**特記事項  
及び  
ホームページ**